



1



2



3



4



5

- 1 水道管の破損により、市内5箇所
で給水活動を実施しました。
- 2 ボランティアの方にも給水活動に
協力していただきました。
- 3 避難所（ラスカ）に避難された市民
の皆さんは、300人もいました。
- 4 ボランティアの方により炊き出し
が実施され、一人暮らしの高齢者な
どに、おにぎりが配付されました。
- 5 応援協定を結んでいる東京都墨田
区から支援物資が届けられました。

アの方々の協力を得ながら、高齢者一人世帯への安否確認・生活支援物資の配布や避難者の皆様への支援など、生活救済活動を行うとともに、崩落した屋根瓦や塀などの災害廃棄物の受け入れや道路などの復旧活動に努めました。

重要伝統的建造物群保存地区の被害も甚大

市内の多くの建物などが地震の被害を受けました。特に、昨年6月に国の重要

伝統的建造物群保存地区に選定された真壁地区の町並みで、伝統的建造物として特に保存の重点対象に特定されている建築物106件のうち少なくとも70件、工作物56件のうち20件が、倒壊を含む甚大な被害を受けました。

震災直後の3月13日〜17日にかけて、県建築士会桜川支部などの協力を得て実施した「震災建築物応急危険度調査では、特に被害の大きかった地域を中心に1891棟の調査を実施。結果、危険建物178棟・要注意建築物736棟の結果が出ました。

また、各区長を通じて市民の皆様を対象に実施いたしました「災害被害調査でも、建物などの全壊・半壊・一部損壊について膨大な件数の被害状況が提出されました。

公共施設につきましても、窓ガラスの破損や壁・天井などが剥離するなどの被害が発生。特に体育館などは利用者の皆様の安全と安心に考慮し、使用禁止などの措置をとらせていただきました。

交通機関も混乱が続く

市内の道路では、県道・市

道・林道などに亀裂・陥没箇所が194箇所発生し、危険地帯での通行止めや車線変更などの対応を行いました。

また、ガソリン不足により車の運行支障や鉄道などへの被害によりJR水戸線が地震発生から約1か月間、線路復旧のため不通となるなど、交通機関の混乱が続きました。

多くの皆様からご支援をいただきました

このような中、ボランティアの方々や応援協定自治体や市内外の有志企業などの皆様から、被災された市民の皆様への生活を支えるための給水活動や様々な支援物資の提供、義援金などにご配慮いただき、非常事態を乗り切ることが出来ました。心よりお礼申し上げます。

桜川市の被害状況
(5月24日現在)

- 人的被害
 - ・ 死亡者／0人
 - ・ 負傷者（軽傷）／6人
- 家屋等の被害
 - ・ 全壊／57棟
 - ・ 大規模半壊／30棟
 - ・ 半壊／181棟

- ・ 一部損壊／1,361棟
- ・ 建物火災／1件
- 道路の被害
 - ・ 県道、市道、林道など（陥没・亀裂）／194箇所
- 避難者
 - ・ 4箇所の避難所（岩瀬体育館「ラスカ」、岩瀬福祉センター、大和ふれあいセンター「シトラス」、真壁福祉センター）に、530人（JR岩瀬駅に停車中の車

- 両乗客200人を含む）
- 電気
 - ・ 地震発生直後から市内全域にわたり停電（3月13日17時30分全域復旧）
- 水道
 - ・ 地震発生直後から市内全世帯にわたり断水（3月28日全域復旧）
- 公共交通機関
 - ・ JR水戸線／4月6日（水）まで運休

市民の皆様へ

未曾有の災害「東日本大震災」が発生してからまもなく3か月を迎えようとしています。



桜川市長 中田裕
おらず、私
たちの生活
は不安の中
に置かれて
いる状況で
す。さらに、

去る、3月11日の大震災で被災された市民の皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、今なお復旧に向けて奮闘されている皆様のご苦労に対して深く敬意を表します。

市では、地震発生直後から消防・警察・自衛隊などの関係機関の方々と協力して被災

者の皆様への支援と災害復旧に努めてまいりました。

一方で、地震と相まって発生した東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の流出は、今

だ収束して
おらず、私
たちの生活
は不安の中
に置かれて
いる状況で
す。さらに、

それに伴う農産物などへの風評被害や電力不足などにも、今後注視していく必要があると思います。つきましては、各家庭での節電のご協力をお願いいたします。

市といたしましては、これからも一歩一歩確実に復興に向けて取り組んでまいります。併せて、災害に対する意識を再認識し、市民の皆様と市が一体となり、安全・安心の住みよいまちづくりを進めてまいります。

最後に、復旧にご尽力いただいた皆様や貴いご厚志をお寄せくださいました皆様をはじめ、関係者の方々に心から厚くお礼申し上げます。

- 6 榎箕ヶ池の遊歩道は大きな亀裂が入り崩落しました。
- 7 高森地区では県道沿いの塀が軒並み崩落しました。
- 8 真壁地区の登録文化財なども大打撃を受けました。
- 9 瓦礫集積場には震災による膨大な量の瓦礫が山積みになりました。
- 10 石油製油所の操業停止により、ガソリン不足が生じ、スタンドには多くの車が並び、周辺は大渋滞となりました。



6



7



8



9



10